

# 5つの調査地点の今、昔



⑤ おんべ川  
 小岐嶺キャンプ場  
 ・風景は1年前と変わらない。  
 ・2000年くらいから川原でデケーキャンプをする人がふえ、たき火のあとゴミが多く残っていた。川で焼肉の骨を流している人もいた。  
 ・2005年くらいからはたき火の数が減った。バーベキューセットを使う人が増えた。ゴミも減ったと思う。

④ おんべ川 水竹橋



・調査を始めた頃は車道川原まで降りて行くことができた。川原で水竹橋やバドミントンをしている人がいた。  
 ・2004年から川原に降りる水が少なくて歩法が難しくなった。  
 ・水竹橋の下の川原は人が歩かなくなった。川が少なくなった。  
 ・2005年には、車で川原に降りることまでできなくなった。川原は車道川原で、今年も水竹橋が壊れて川原降りることができなくなった。ほとんどの人は川が好きなだけだ。



③ 安楽川 水竹橋  
 ・10年間はほとんど変わらない。  
 ・人と川の距離が近くなった。



・10年前の頃河川は道は通れなくなった。今は水竹橋が壊れて降りている。大雨の時は川が溢れて橋の下でくわいている。川原で人を発見することが多い。

① 鈴鹿川派川河口



1998年 ↓ 2007年



・2004年からこの防の工事が始まって、川の様子が変わりました。今までは工事のため一時閉鎖されたが、今年もまた前のようになっています。初の調査でこのポイントを見つけたのは、最初は見つけられなかった。

10年前  
 ぼくは  
 1才でした。

夏休みに、鈴鹿川の水質調査をした。方法は、水生生物による水質判定と、バックテストによるCODの2つ。  
 この調査は、もう10年も続けてきた。ぼくたちは、毎年この調査を楽しみにしている。今年も区切りの年なので、この10年間を振り返ってみたい。

# 川大好き新聞

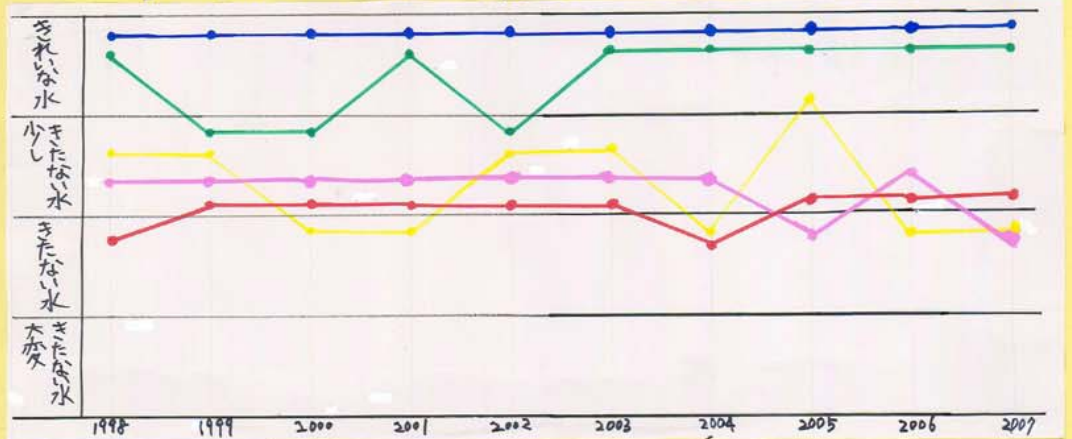
2008年1月  
 ポケモンクラブ



見つけた！  
 大きなトビケラの巣

川原の様子が変わったり、道が変わったりした所もあるけれど、やっぱり人は川が好きなんだと思う。川原で遊ぶと、時間がたつのを忘れてしまうくらい楽しい。

## 10年間の水質判定



・年によって多少のちがいはあっても、鈴鹿川の水質はほとんど変わらなかった。川の水は年々汚れていくのかと思っていたので、水質がほとんど変わらずに、「きれいな水」が「少しきたない水」だったのは、うれしかった。  
 ・鈴鹿市では下水道の整備が進められている。指標生物はあまり見つけられなくて、水質判定は変わらなくても、水生生物の数はふえてきたと思う。  
 水の中にある生物は、魚くらいしか知らなかったけど、川の中にはたくさんの水生生物がいることがわかった。小さい生き物たちのために水を汚してはいけない。川につながる場所からできることを考えよう。

## 今年の調査結果

調査地点	調査日時	調査者	調査内容	調査結果
① 鈴鹿川派川河口	2007.10.1	鈴木 太郎	水質調査	きれいな水
② 木田橋	2007.10.1	鈴木 太郎	水質調査	きれいな水
③ 水竹橋	2007.10.1	鈴木 太郎	水質調査	きれいな水
④ 水竹橋	2007.10.1	鈴木 太郎	水質調査	きれいな水
⑤ 小岐嶺	2007.10.1	鈴木 太郎	水質調査	きれいな水

・派川河口には、今年もヒメギイがたぐさした。  
 ・木田橋は、きたない水と判定されたが、トビケラの水生生物の数が多く、トビケラは大きい虫がたくさんいた。  
 ・水竹橋は、きたない水と判定されたが、ヒメギイの数が減った。  
 ・水竹橋は今年もたくさん水生生物がた。  
 ・小岐嶺で、ヒメギイがたぐさした。CODは20mg/Lで、昨年より少し下がった。



小岐嶺で見つけたトビケラの卵から、こいつが大きいトビケラを見つけたのは、びっくりした。

## 水を汚さないためにやっていること

- ・食べ残しをしない
- ・できるだけ洗剤を使わない
- ・アクリルたわしで洗う
- ・油を流さない
- ・汚れた皿はふいてから洗う
- ・川のゴミを捨てる

ぼくたちは川が大好きだ！

川遊びも大好きだ！  
 こからも鈴鹿川がずっときれいな  
 持ち続けるようにぼくたちができる  
 ことを続けていきたい！  
 友達にも伝えたい！

三重県 鈴鹿市 小岐嶺

ポケモンクラブ